

教員のための 金融教育 セミナー を開催

平成22年8月に開催した
「教員のための金融教育セミナー」の
模様をご紹介します。

学校における 金融教育の実践のために

子どもたちの生きる力を培うために、金融教育へのニーズが高まっています。金融広報中央委員会では、学校の先生方などを対象とする金融教育セミナーを8月9日に東京で開催しました。当日は、全国から約130名の方が参加されました。開会に当たり、小林信介会長より、「本日のセミナーが実り多いものとなり、先生方が金融教育の要素を教育指導に取り入れてくださることを期待します」との開会挨拶がありました。

新学習指導要領と金融教育について

来賓の文部科学省初等中等教育局教

育課程課・榎原哲哉学校教育官よりご挨拶をいただきました。金融経済や消費生活の環境変化の中で、新学習指導要領において金融に関する記述を充実させたことを説明されたうえで、金融経済教育、消費者教育について金融広報委員会などと連携して一層の充実を図ってきたいと話されました。

■パネル・ディスカッション

続いて、「金融教育のあり方と学校における実践」をテーマに、パネル・ディスカッションが行われました。パネリストとして、文部科学省の榎原学校教育官、帝京大学教職大学院の小関禮子講師、石川県



パネル・ディスカッション

能美市立根上中学校の朝倉京子教諭、東京都立西高等学校の篠田健一郎主任教諭にご参加いただきました(コーディネーターは大川昌利事務局長)。それぞれの方から、金融教育につき、実践に至った経緯、意義、効果・手応えについてお話しいただきました。また、児童・生徒の将来に役立てるための工夫、実践上の課題・対処方法についても意見交換がなされました。パネル・ディスカッションを聴かれた先生方からは、「教科間の連携・協力の重要性がよく分かった」、「講師の方々が意欲に満ちていて、勇気づけられた」との声が聞かれました。

■分科会

小・中・高等学校ごとに行われた午後
の分科会では、金融教育の実践例(各分
科会で二例ずつ)について、報告および関
連するワークショップが行われました。

小学校分科会では、佐賀県唐津市立
大良小学校・高橋幸信教頭より「工夫し
よう！かしこい生活」の実践報告があり、
ワークショップでは「おこづかいゲーム」を
体験したうえで、その改善点、実践上の
留意点などについて議論し、発表しまし
た。続いて、武庫川女子大学・藤本勇二
講師による「自己資金で科学の祭典を
開催しよう」の実践報告を受け、「販売」
をテーマとするグループ討議を行い、企画

書を発表しました。

中学校分科会では、福岡県春日市立
春日野中学校・木尾栄次教諭より「お金
にまつわるトラブル防止ポスターをつく
ろう」の実践報告があり、グループで主題
を決めてポスターを制作し、生徒に伝え
たいことを話し合いました。続いて、千葉
市教育委員会の山崎二郎氏による「『お
金』にかわるもの」の実践報告を受けて、
クレジットカードと上手にかかわるための
標語を考えました。また、教科間の連携
のあり方について意見交換しました。

導主事から「クルマの”窓”から経済をの
ぞいてみよう」の実践報告があり、持続可
能な社会、他者と共に生きる社会をテー
マとして、授業の進め方を話し合いました。
続いて、岐阜県立大垣北高等学校・河合
成子教諭より「主体的に判断し行動で
きる消費者をめざして」の実践報告があ
り、ワークブックを利用した作業を体験し、
意見交換・発表を行いました。

参加された先生方からは、「金融教育
をどのように実践していけばよいか、具体
的なヒントがたくさん得られた」などの
感想が寄せられました。

今回のセミナーを一つのきっかけとし
て、学校における金融教育がさらに広く
行われていくことが期待されます。



小学校分科会
「販売」をテーマとするグループ討議を実施



中学校分科会
お金にまつわるトラブル防止ポスターを制作し、説明



高等学校分科会
ワークブックを利用した作業を体験